Ｂ＆Ｇ体験クルーズに参加して

美国小学校　6年生　畑谷圭治

鳴海ふ頭に停泊中の「ふじ丸」

ぼくは、この体験クルーズを通して、たくさんの思い出を作り、帰って来ることができました。空港からバスで晴海ふ頭に行き、「ふじ丸」という客船に乗り、全国から集まった仲間と一緒に団結式を行いました。団結式では、シドニーオリンピックに出場した水泳の中村真衣選手が応援のメッセージをくれ、とても驚きました。

▲▼「操舵室」見学をしている畑谷くん

二日目は朝食の後、普段あまり見ることができない「操舵室」を見学しました。そのあとは自己紹介やレクリエーション、午後からは海洋観察で船の上からたくさんの『アホウドリ』を見ることができました。夕食ではおいしい肉料理を食べながらテーブルマナーを教えてもらいました。

カヌー体験

三日目は小笠原諸島の父島へ行き、マリンスポーツやライフセービングを教えてもらいました。その中でもカヌーやレクリエーションはとても楽しかったです。

ライフセービング体験

四日目は父島で過ごす二日目となり、大神山トレッキングや鯨を見たり、ウミガメ学習をしました。学習のあとは買い物をして、この日の父島の活動は終わりとなり、夕方、父島を出航しました。

1組のみんなで考えた造語「体験」

五日目は、各自がクルーズの5日間を振りかって体験の思い出を文字にする発表会があり、ぼくの入っていた1組は「体験」の造語に決まりましたが入賞することができなくて残念でした。そして、船の中で最後の食事となるフェアウェルパーティーが始まりましたが、ぼくは、船酔いでアイスクリームとスイカしか食べることができませんでした。

最後にクルーズに集まった仲間全員で「五百人あく手」をして、みんなの心が一つになったことが、ぼくの一番の思い出です。

六日目は東京にもどり、解団式が行われました。

今回の体験クルーズを振り返ってぼくはたくさんの体験をして、そして楽しい思い出を作ることができました。

B&G体験クルーズ小笠原　1組のメンバー